

Takara standard

タカラスタンダード初の海外拠点 台湾支店を設立し海外展開のさらなる加速を図る

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、2025年4月10日付で、台湾におけるさらなる事業強化を目的に、初めての海外拠点となる台湾支店を設立します。

タカラスタンダードは2015年に本格的な海外展開を開始。国内の競合企業の中では比較的后発でしたが、2023年度の売上が5年前比で約250%と、順調に売上を拡大しています。現在は東アジアを中心とした6エリアで現地販売代理店を通して商品を販売していますが、中でも台湾は、現地販売店が展開するショールームが約30店舗と最も多く、当社にとって重要な市場の一つです。現地の高温多湿な気候を受けて、湿気に強く耐久性に優れた「高品位ホーロー」製のキッチンが高い評価を得ていますが、今後も現地代理店と協業しシェアアップを図ることによって、さらなる売上拡大が期待できます。

そこでこの度、現地代理店とのさらなる関係強化を図るとともに、当社とホーローの認知度を向上させるため、支店を設立する運びとなりました。台湾支店では、現地代理店のフォローの他、スピーディーな市場情報の収集と分析や、ユーザーがメーカー選択をする際の決め手となるインテリアデザイナーの新規開拓や関係構築を担います。

タカラスタンダードは、「中期経営計画2026」の戦略の一つに収益構造改革を掲げ、その柱の一つとして、海外事業基盤構築に取り組んでいます。特に今後も成長が期待できるアジアにおいて、事業の強化を図り、2030年度までに、海外における売上100億円達成を目指します。

<ご参考：タカラスタンダード台湾支店概要>

▶所在地	台湾 台北市
▶代表者	グローバル事業本部営業統括部台湾支店長 片山智右
▶設立日 (登記完了)	2025年4月10日(予定)
▶運転資金	50万台湾元(約225万円)
▶事業内容	住宅設備機器及び建築材料の売買 各種建設工事の設計施工・請負(キッチンの設計)他

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客様のニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。[設立：1912年5月30日(創業112年) / 売上高<連結>：2,347億円(2023年度) / 従業員数<連結>：6,616名(2024年3月末時点)]